

2020年概要

本年度はコロナウイルス流行の影響で、種の配布、苗作り、苗の配布が例年のようにできませんでした。緊急事態宣言解除を受け、豊国神社、方広寺、幸遊庵、元山王小学校での棚づくりと植え付けを行いました。地域の店舗や個人宅前での苗の無料配布もほとんどできず、これまで毎年、栽培していた方への苗の配布が遅れ栽培できなかったところもありました。

6月は低温、7月は雨が多く日照時間が少ないうえ涼しく、8月に急に高温となりました。6月の後半までに実がついた場所では、固く完熟しましたが、豊国神社、方広寺、元山王小学校では、例年は6月後半には実がつき始めてましたが、今年は7月に入ってようやく雌花が咲きました。7月中頃を過ぎてからようやく実がつくようになりました。雨が多かったためか、根元の蔓が裂けて弱るなどこれまでに経験のない現象も見られました。

今年度は縮小しての栽培となりました。

3月19日
1回目の種まき



早目に暖くなることを期待して種まき。黒いビニールを被せ発芽を待ちます。

3月31日
3回目の種まき



数回に分けて、種まきをしました。最初の種まきから10日経ちましたが発芽はまだです。

4月15日
発芽しました



暖かな日が続きようやく発芽。千成が一番目。

4月19日
どんどん発芽してます



千成は多く発芽しますが、百成り、特大は少し。

4月26日
特大は芽も大きい



種も身の大きさに合わせて千成は小さめ、特大は大きめです。

5月12日
40パーセントくらいの発芽



1回目から3回目まで発芽は同じようになりました。種の種類で発芽率に大きく差がでました。

5月20日
苗の配布



毎年お世話になっている地域のお店や個人宅前で配布。配布数は例年の5分の1程度。

5月20日
栽培の準備



緊急事態宣言解除の見込みとなり準備を開始。竹の加工店で端材の竹を分けていただきました。

5月22日
土を耕す



方広寺の土を耕しました。

5月23日
花壇を作る



方広寺の花壇が完成。

5月23日
竹で棚を作る



竹組みにも着手。4年目になり少しは要領を掴んだつもりです。

5月24日
苗を植え付け



後ろは千成、前は特大の苗です。大きな実ができますように。たくさんできますように。

5月28日
豊国神社で苗の植え付け



土を運び込み、花壇を作り、竹で棚を作り、植えつけました。

5月28日
祇園幸遊庵前で竹組み



街中に今年も素敵な緑のカーテンが出来そう。

5月31日
元山王小学校花壇で植え付け



地域の方が協力していただき、竹の棚組みから植え付け作業までしました。

6月2日
自動散水システム



6月2日
自動散水システム



6月20日
花が咲き始める



7月2日
雌花も咲くようになりました



7月4日
実が膨らみ始めました



7月4日
棚いっぱい葉が広がりました



7月17日
実がいっぱいできました



8月5日
猛暑の為に葉が枯れてしまった



9月17日
最後の収穫・撤収作業



8月20日
初収穫。穴をあけ加工用に





豊国神社での栽培は7年目

国宝の唐門のすぐ横で栽培。

完熟させることはできませんでしたが8月後半まで緑の葉も残り、大きな瓢箪が数個なり、参拝、観光、散歩の方などが足をとめて楽しんでおられました。



方広寺での栽培は5年目

今年は、前列に特大の苗を、後列に千成を植えました。

特大は期待していたほどの大きさにはなりませんが30cmくらいのものが10個ほどなり、千成は30個ほど実がつき、多くの方が興味を持っておられました。



京町家の宿 幸遊庵 皆が足をとめる緑のカーテン

数回、実が膨らみ始めるとは萎んでしまいましたが、実がついているのを目にしました。コロナ禍で観光客が少ない東山でしたが、いつもどおり頑張っている様子を発信できたのではと。継続してきたことで、ご近所の関心が高まっています。



山王小学校 地域の方が心を込めて

今年は下をくくれる大きな瓢箪棚ができました。実がつくのが遅く弱のが早く、加工用に完熟する実はほとんどできませんでしたが、栽培を楽しみました。



このほか、個人宅での栽培の報告を数件いただきました。

本年度はコロナウイルス流行の影響で加工などのワークショップは企画できませんでした。資金つくりとして、昨年までに収穫した実を工作用に通信販売で売る試みもしました。

栽培状況の詳細はホームページで紹介しています。

瓢箪プロジェクト ホームページ <https://higashiyama-hyoutan.com>